

BioJapan2026

JBA未来共創ブース：

I Future Food Innovations

II Healthcare Innovations

**(機能性食品研究会／Food Bio Plus研究会／ヘルスケア研究会／
バイオエンジニアリング研究会 連携企画)**

「未来×共創」をテーマに フードの領域とヘルスケアの領域で設置する
共同出展ブース。バイオジャパンにおける食&ヘルスケアの領域の出展を拡充
し、フード領域、および「healthTECH JAPAN」を盛り上げます。

*** 先着12件×2領域**

*** 機能性食品研究会、Food Bio Plus 研究会、ヘルスケア研究会、バイオエ
ンジニアリング研究会会員のほか、JBA会員、非会員（特にスタートアップ企
業）の皆様も出展いただけます。**

*** 非会員の皆様は、この出展を機に是非、JBAへの入会もご検討下さい！**

BioJapanは、長年にわたり医薬・創薬分野を中心に発展してきた国際展示会です。

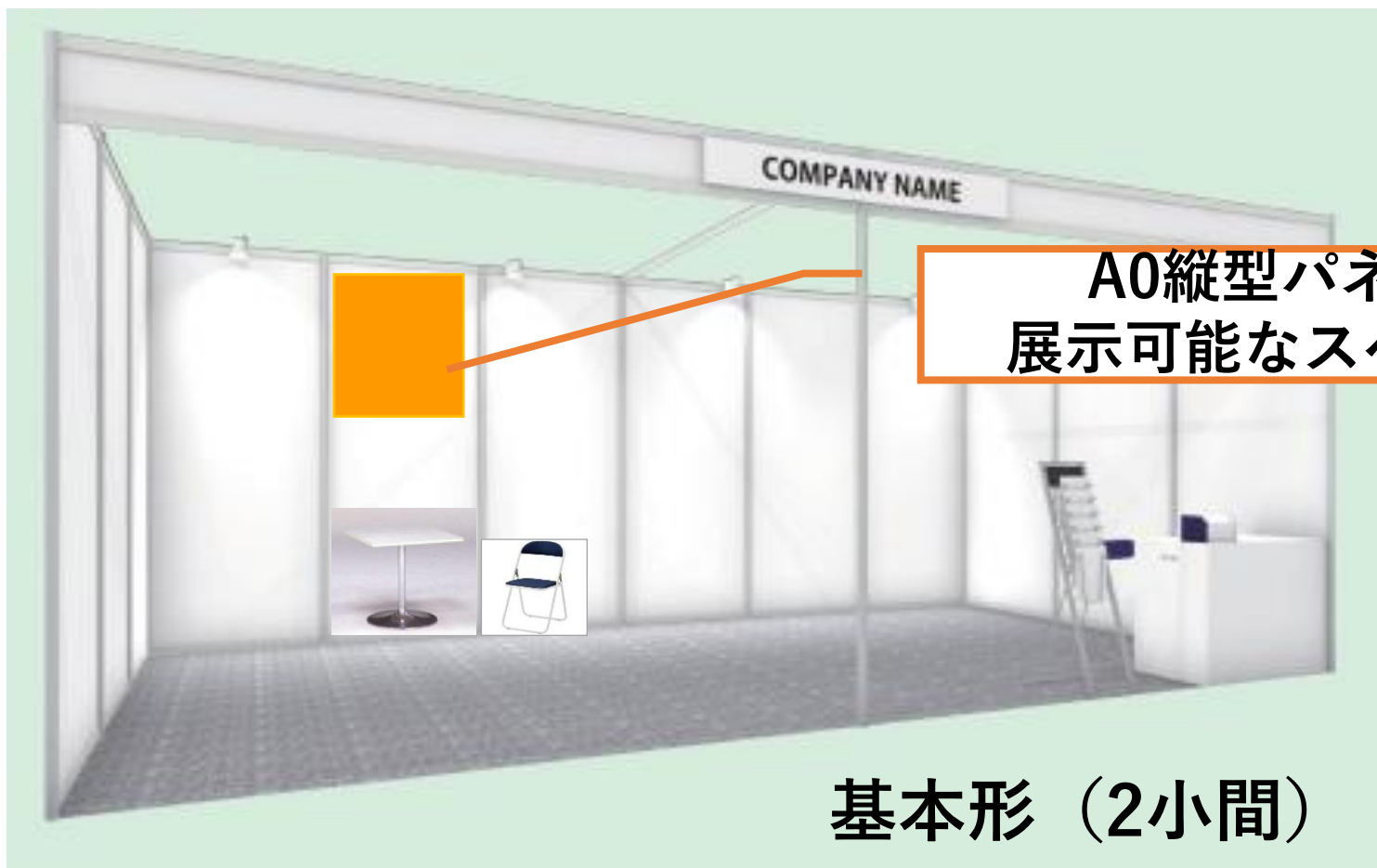
一方で近年、**食・ヘルスケア・予防・Well-being**といった領域は、バイオ技術の社会実装を牽引する重要なフロンティアとして急速に存在感を高めています。

本共同出展ブースは、BioJapanにおける**食とヘルスケア領域の出展を拡充**し、特に新たな価値創出に挑む**スタートアップ企業の参画を積極的に促進**することを目的としています。

JBA未来共創ブース：I JBA Future Food Innovations II JBA Healthcare Innovations 共同出展展示ブース基本形



出展者ロゴ入り
タペストリー掲示
(昨年度の例)



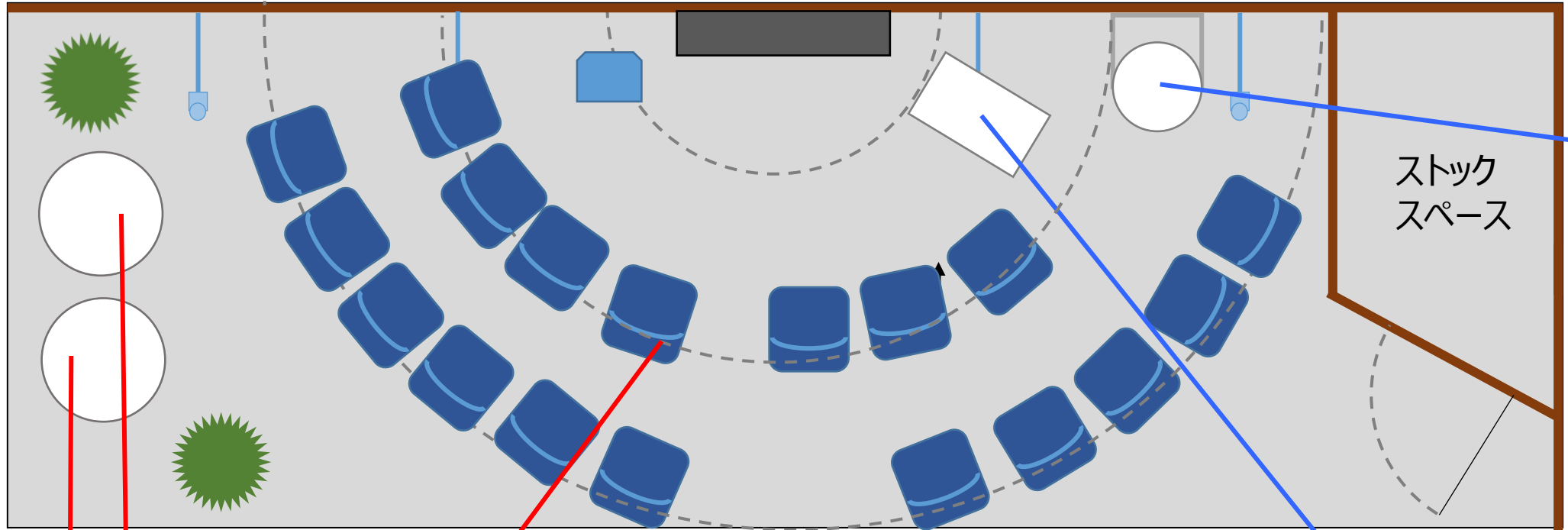
基本形 (2小間)

幅100cm×高さ270cmのパネルブース+角テーブル+椅子+貴名受+ビジネスマッチングアカウント1つ
+出展者プレゼンテーション (10分間) @ JBA特設プレゼンテーションブース/1口 15万8千円 (税込み)
※ 出展者アカウント追加：※主催団体会員：88,000円 (税込)/1名 主催団体非会員121,000円(税込)/1名
* 展示内容は、必ずしも自社成果でなくとも構いません。共同研究先、出資先、支援するスタートアップや大学等の事業紹介でも結構です。

JBAブース スペシャルラウンジ

1 m

* 一体感あるプレゼンで、共創の第一歩を

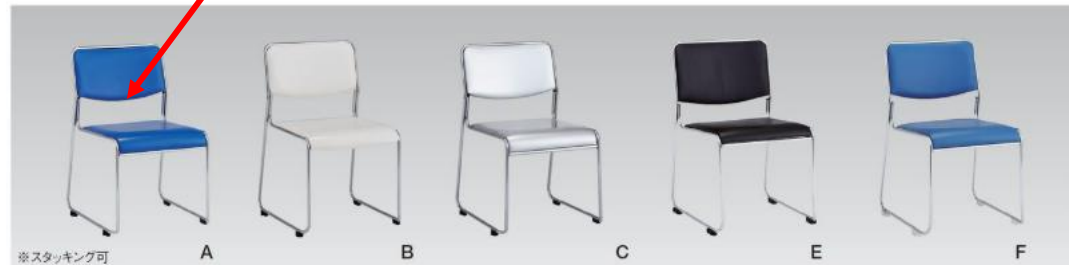


C-234E

ストック
スペース



T-117A カフェテーブル
Cafe Table
φ750 H650
天板:ホワイト、デコラ
脚部:クロームメッキ



※スタッキング可
C-367A・B・C・E・F スタッキングチェア
Stacking Chair
A・B・C:W500 D500 H750 SH430 E: W500 D500 H760 SH440 F: W480 D525 H740 SH420
座面レザ- A:ブルー B:ホワイト C:シルバー E:ブラック F:ライトブルー
フレーム:クロームメッキ

C-367



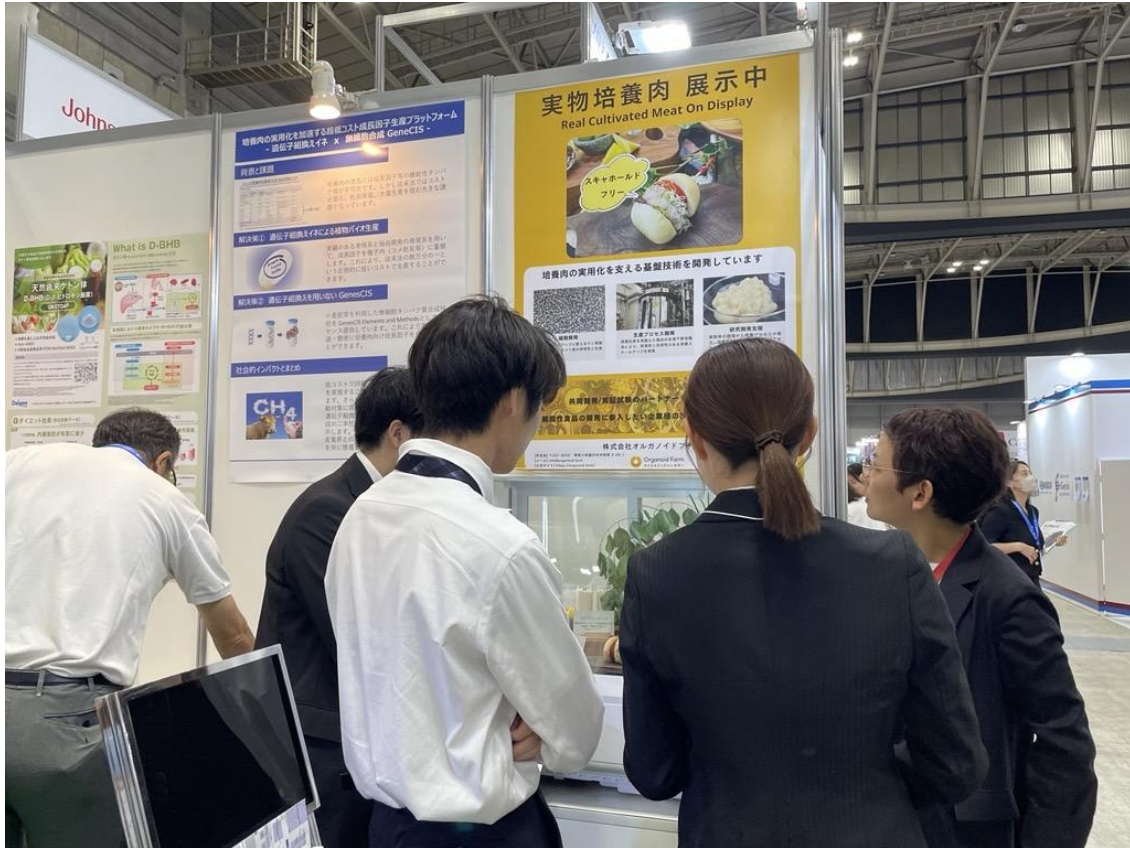
UN-105 受付カウンター

2025年度実績

多数の来場者で賑わい、活発な交流が繰り広げられた。

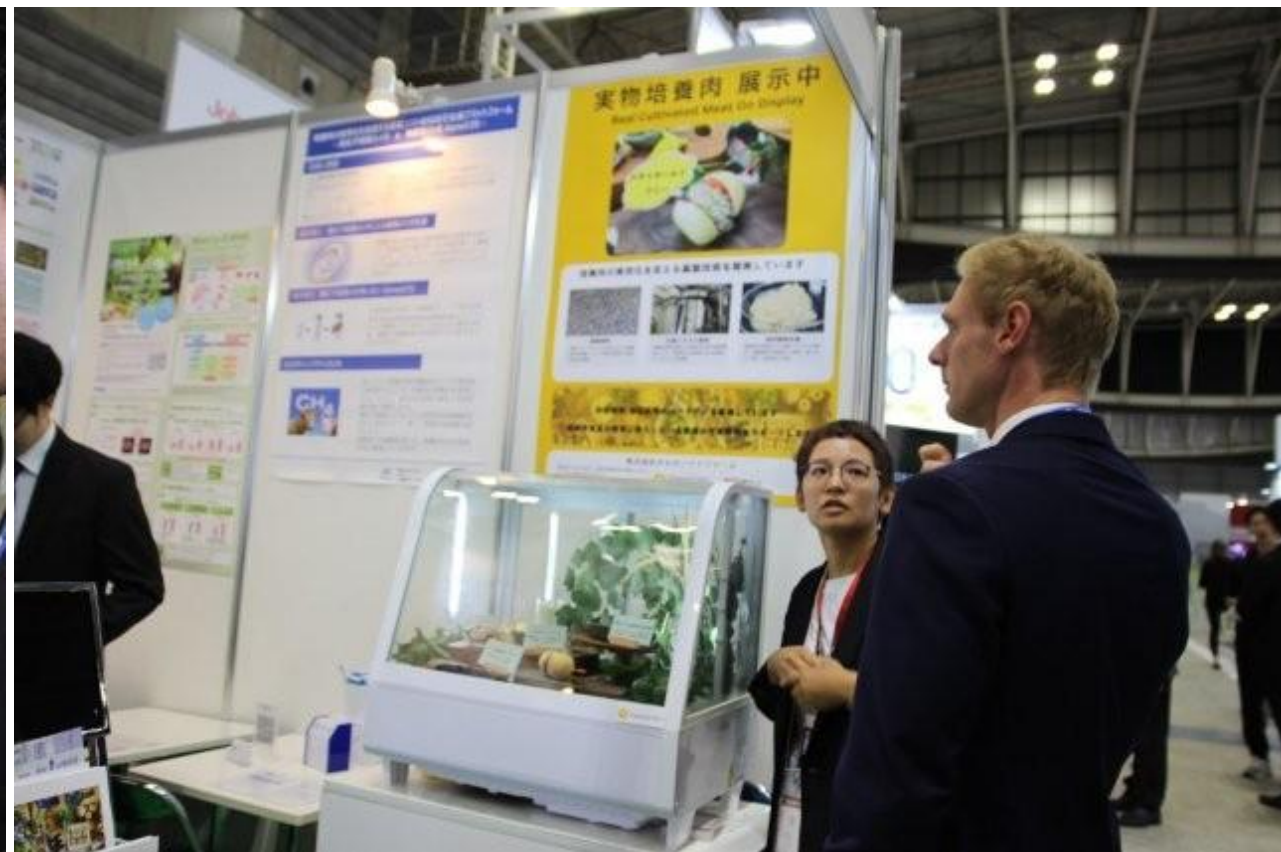


注目を集めた(株)オルガノイドフォームによる 実物培養肉の展示

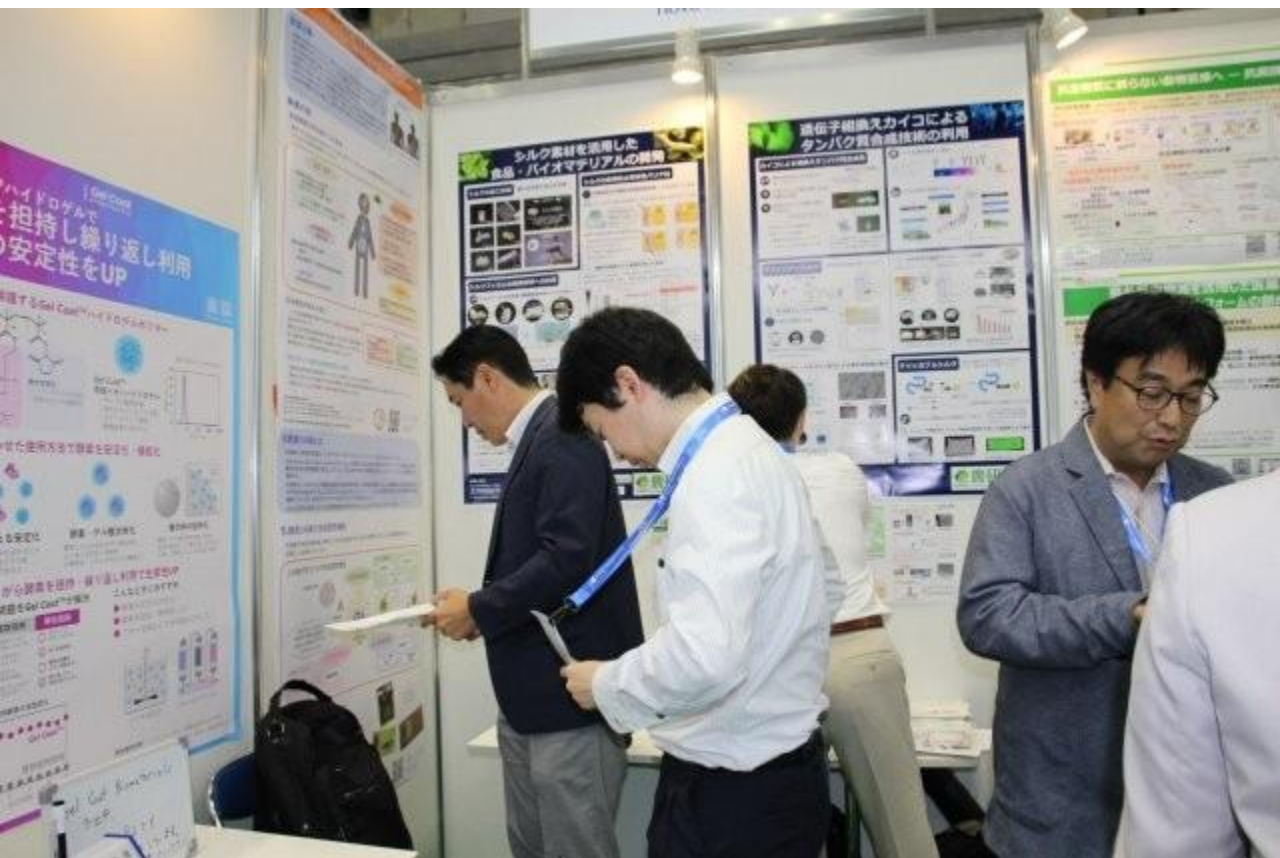




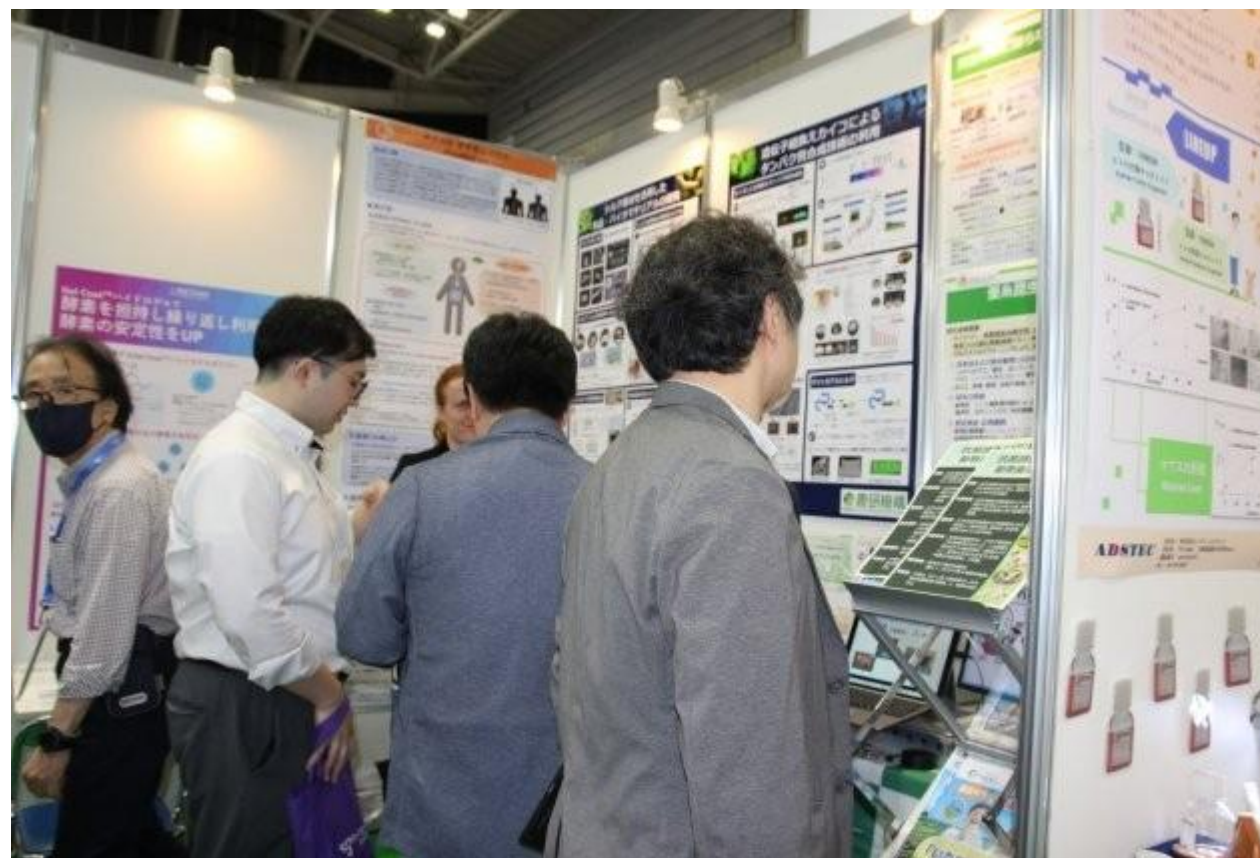
にこやかに解説を聞く



海外からのお客様



ポスターに見入る来場者



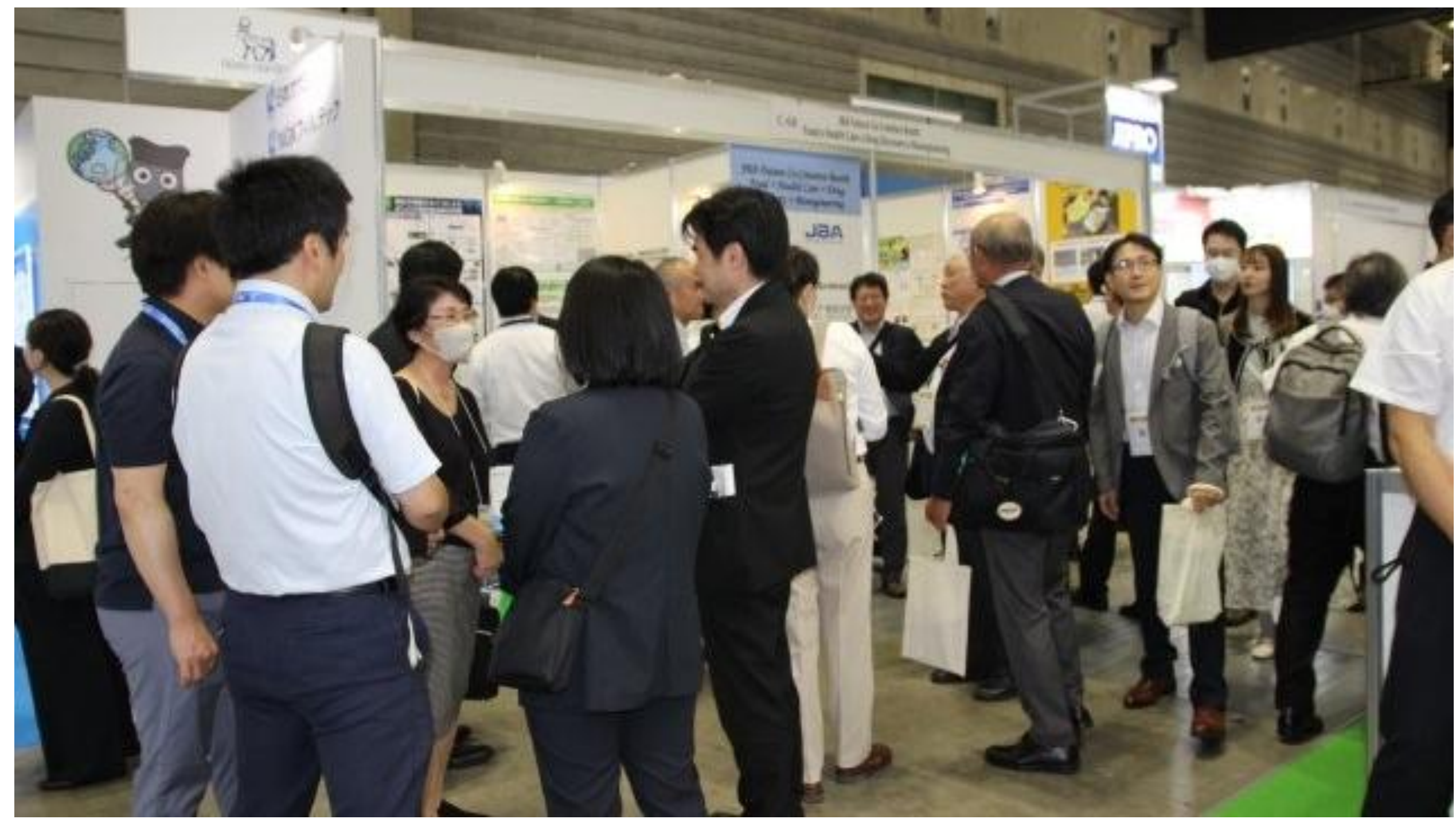
狭い中でも名刺交換



タペストリーの裏側で面談

**狭くて人が多くて、入れない
との苦情も・・・**





JBA Future Co-Creation 2020
C-68 Food x Health Care x Drug Discovery x Bioengineering

JBA Future Co-Creation Booth
Food x Health Care x Drug
Discovery x Bioengineering







結構肉の実用化を支える基盤技術を開発しています



構造体



生食対応の構造体



構造体

高層階/高層試験のハードウェアを開発して

建設現場の現場に導入したい企業様の技術開発を

株式会社オムカノイデアーム

特設プレゼンコーナー「JBAブース スペシャルラウンジ」における出展者プレゼンテーション

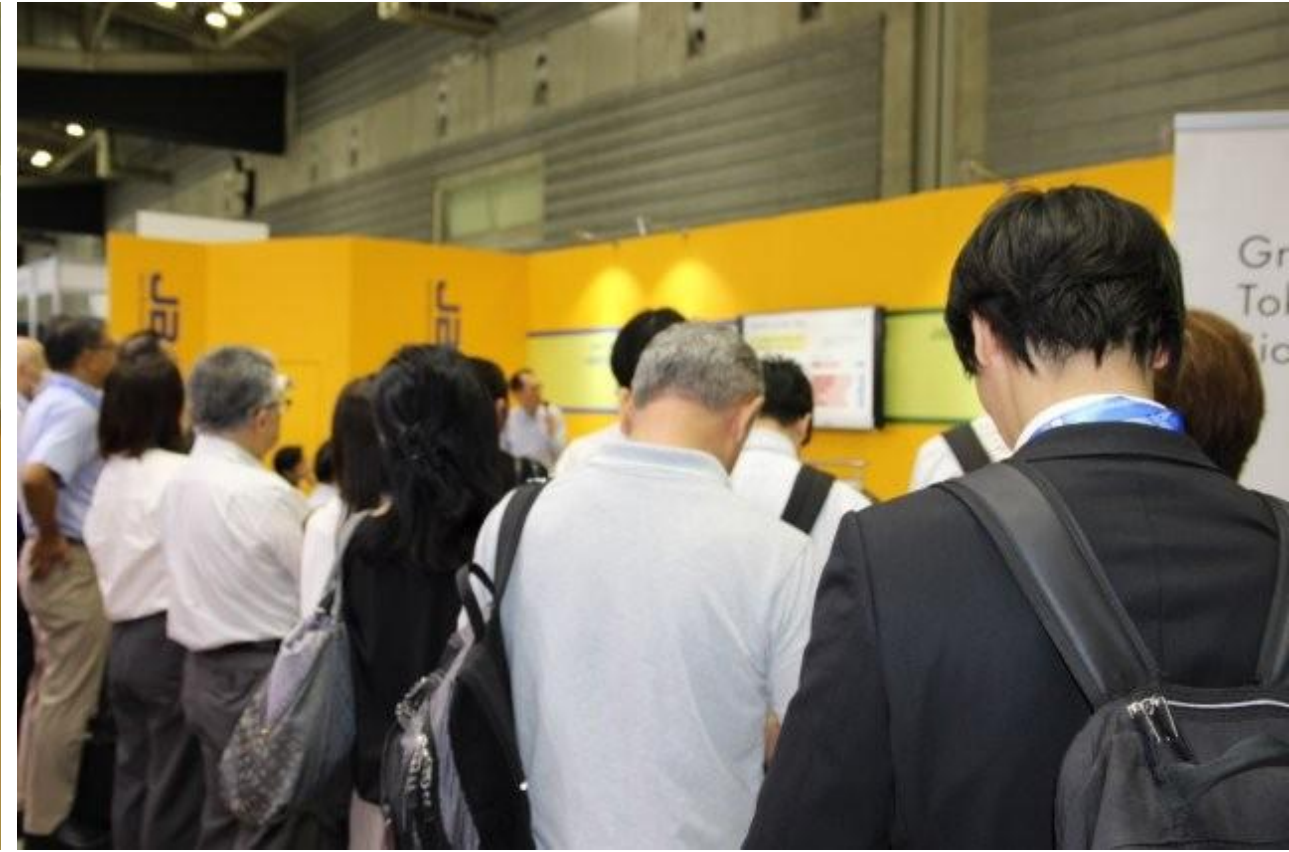


聴講者との距離が近いステージ

お客様はぎっしりで、立ち見が出るほどの盛況ぶり



ダイセル三橋様の講演



インテグリカルチャー三好様の講演¹⁷



培養肉開発に関する山本多恵子氏（オルガノイドファーム）の講演



臨場感あふれる発表が繰り広げられた。

BioJapan 2025

RII
Regenerative Medicine Japan
2025

healthTECH
JAPAN 2025

是非、ご来場
ください

Asia's Premier
Partnering Event

2025
Oct. 8 wed. - 10 Fri.
PACIFICO Yokohama, Japan

APPLY NOW

BioJapan
jcd-expo.jp/en/

出展者プレゼンテーション 未来の食のイノベーション2025～実装と拡張への挑戦～Part1

JBA健康・医療系 研究会共同企画

会期：2025年10月8日（水） 12:00～13:10
場所：パシフィコ横浜 Aホール A-42 JBAブース スペシャルラウンジ

JBA未来共創ブース：食×ヘルスケア×創薬×バイオエンジニアリングに共同出展した企業、公的研究機関、アカデミア等による出展者プレゼンテーション。細胞農業、新規食品素材・バイオマテリアル開発、免疫など食の機能性の評価・分析、新規メニューの開発等を通じ、未来の食品開発と機能性食品の興隆を目指す取り組みを紹介する。「食」により「人と社会と地球」の健康を創造することを目指すとともに、超高齢社会における食での健康維持増進、健康寿命の延伸に挑戦している。未来の食のイノベーションにご興味のある皆様、是非ご聴講下さい。

12:00～12:10 「腸内細菌による機能性代謝物の発酵生産」
三橋 和也氏（株式会社ダイセルヘルスケアSBU事業戦略グループ主席部員）

12:10～12:20 「抗生物質に頼らない動物医療へ
- 抗菌酵素という選択/蚕糸昆虫資源を活用した
医薬・食品開発プラットフォームの創成」
内山 淳平氏（岡山大学 学術研究院医歯薬学域 准教授）
宮下 惇嗣氏（帝京大学 医真菌研究センター 講師）

12:20～12:30 「培養肉大量生産に向けた開発の進捗と実証計画」
山木多恵子氏（株式会社オルガノイドファーム 代表取締役）

12:30～12:40 【細胞農業入門】 食べるだけじゃない！未来への挑戦
三好英明氏（インテグリカルチャー株式会社 事業企画部）

12:40～12:50 「培養肉生産の加速に向けて - 成長因子の超低コスト合成を
実現する植物バイオと無細胞技術 -」
南 賢尚氏（NUProtein株式会社）

12:50～13:00 「天然由来ケトン体D-BHB(β-ヒドロキシ酪酸)が切り開く食の未来」
勝矢祥平氏（大阪ガス株式会社 先端技術研究所 バイオ・ケミカルチーム）

13:00～13:10 「ガストロノミーと腸内環境を通じた免疫機能の維持」
辻 典子氏（株式会社腸管免疫研究所 科学アドバイザー/十文字学園女子大学
食品開発学科 教授）



BioJapan 2025
Regenerative
Medicine
Japan
2025
healthTECH
JAPAN 2025

是非、ご来場
ください

Asia's Premier
Partnering Event

2025
Oct. 8 wed. - 10 Fri.
PACIFICO Yokohama, Japan

APPLY NOW

BioJapan
jcd-expo.jp/en/

出展者プレゼンテーション
未来の食のイノベーション2025～実装と拡張への挑戦～Part2
JBA健康・医療系 研究会共同企画

会期：2025年10月9日（木） 12:30～13:30
場所：パシフィコ横浜 Aホール A-42 JBAブース スペシャルラウンジ

JBA未来共創ブース：食×ヘルスケア×創薬×バイオエンジニアリングに共同出展した企業、公的研究機関、アカデミア等による出展者プレゼンテーション。細胞農業、新規食品素材・バイオマテリアル開発、免疫など食の機能性の評価・分析、新規メニューの開発等を通じ、未来の食品開発と機能性食品の興隆を目指す取り組みを紹介する「食」により「人と社会と地球」の健康を創造することを目指すとともに、超高齢社会における食での健康維持増進、健康寿命の延伸に挑戦している。未来の食のイノベーションにご興味のある皆様、是非ご聴講下さい。

12:30～12:40 「私たちに足りない栄養・機能性成分とは？－正しい食習慣から見てくる食品開発に向けた支援－」 山本（前田）万里氏（一般社団法人セルフケアフード協議会理事長／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 エクゼクティブリサーチャー）

12:40～12:50 「シルクが変える未来の食：未利用資源から生まれる新たなタンパク質のかたち」（仮題） 河合 崇氏（ユナイテッドシルク株式会社 代表取締役）

12:50～13:00 「"とける"シルクのコスメ・メディカル応用」 神戸 裕介氏（（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 主任研究員）

13:00～13:10 「シルクを用いた新規経口ワクチン」 小島 桂氏（（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 上級研究員）

13:10～13:20 「培養肉の原料となる細胞の培養スケールアップ・高効率培養方法の研究開発」 松吉 祐児氏（ZACROS株式会社 研究所 バイオものづくり社会実装(ZACROS)共同研究講座） 村岡 仁氏（大阪大学 大学院工学研究科 特任准教授 バイオモノづくり 社会実装(ZACROS)共同研究講座）

13:20～13:30 「アップサイクルを加速する未利用バイオマス発酵産物データベースの大規模プラットフォーム化事業」 隠岐 勝幸氏（株式会社ファーマンステーション 事業開発 一般社員）





出展者プレゼンテーション
革新と融合が導く創薬モダリティの深化と進化 1
JBA創薬モダリティ基盤研究会企画

会 期：2025年10月8日（水）15:30-16:45
 場 所：パシフィコ横浜 Aホール A-42 JBAブース スペシャルラウンジ

多様なモダリティと革新的技術、さらに技術融合による先鋭的な挑戦を紹介。創薬モダリティの深化と進化を目指すスタートアップ企業等の最前線の取り組みにご注目ください。



15:30~15:45
「新しい創薬モダリティ、抗体-核酸コンジュゲートの応用」
 周郷 司（株式会社GenAhead Bio 代表取締役社長）

15:45~16:00
「シングルセル技術と無細胞技術の融合による迅速で網羅的な高性能抗体のスクリーニング」
 天草 陽（iBody株式会社 代表取締役CEO）

16:00~16:15
「iXgeneが挑む、iPS細胞を用いた難治性がん根治に向けた局所高濃度療法の開発」
 水野 篤志（株式会社iXgene 代表取締役COO）



16:15~16:30
「抗体創薬を支援する（仮）」
 松浦 正（株式会社ペルセウスプロテオミクス 執行役員・最高技術責任者）

16:30~16:45
「mRNA標的創薬からASO創薬へ！Veritas In Silico代表が語る、低分子創薬とASO創薬の二刀流戦略、及びQbDアプローチで核酸医薬の課題を突破する最新戦略とは？」
 中村 慎吾（株式会社Veritas In Silico 代表取締役社長）





出展者プレゼンテーション
革新と融合が導く創薬モダリティの深化と進化 2
 JBA創薬モダリティ基盤研究会企画

会期：2025年10月9日（木）11:30-12:30
 場所：パシフィコ横浜 Aホール **A-42 JBAブース** スペシャルラウンジ

多様なモダリティと革新的技術、さらに技術融合による先鋭的な挑戦を紹介。創薬モダリティの深化と進化を目指すスタートアップ企業等の最前線の取り組みにご注目ください。



11:30～11:45
「オートメーション導入による価値創出」
 田中 健之（ローツエライフサイエンス株式会社 営業部）

11:45～12:00
「創薬モダリティのヘテロ二本鎖核酸（HDO）」
 野澤 巖（レナセラピューティクス株式会社 事業開発本部長）

12:00～12:15
「次世代抗体創薬におけるVHH抗体の活用」
 正木 秀和（株式会社Epsilon Molecular Engineering 事業開発部長）

12:15～12:30
「マイコプラズマ糖脂質研究を基盤とした新規モダリティ：グローバル『前臨床～臨床試験』戦略」
 松田 和洋（エムバイオテック株式会社 代表取締役社長/マイコプラズマ感染症研究センター センター長）

※概要は裏面をご覧ください。



BioJapan 2025
Regenerative Medicine Japan 2025
healthTECH JAPAN 2025

是非、ご来場
ください

Asia's Premier
Partnering Event

2025
Oct. 8 wed. - 10 Fri.
PACIFICO Yokohama, Japan

APPLY NOW

BioJapan
jcd-expo.jp/en/

出展者プレゼンテーション マルチモーダル技術（AI×生体信号×画像）で切り拓く
次世代ヘルステック&バイオエンジニアリング JBA健康・医療系 研究会共同企画

会期：2025年10月10日（金）11:30～12:30
場所：パシフィコ横浜 Aホール A-42 JBAブース スペシャルラウンジ

「AI×生体信号×画像解析」といったマルチモーダル技術を核に、医療・ライフサイエンス分野に新たな価値をもたらす先進的な取り組みを取り上げる。次世代の生体計測や非侵襲的な脳内評価、スマート素材による機能性拡張、バイオ医薬品の高度な安全性管理、AIを活用した酵素設計など、研究・臨床・産業応用を横断する最先端事例が一堂に会する貴重な機会。さらに、若手研究者の熱意が集結するチャレンジングな試みもご紹介。研究開発や事業化のヒントを探している方、未来のバイオ&ヘルステックをリードしたい方に必聴のセッション！！

11:30～11:40 「マルチデバイス生体計測システム HuMEの紹介」
木村 健士氏（島津製作所 スタートアップインキュベーションセンター マネージャー）

11:40～11:50 「オルガノイド研究の推進に寄与するHANABI AVATARオルガノイド培養キットのご紹介」 鶴見 詩織氏（株式会社エーディーエス テック バイオ機器部）

11:50～12:00 「生体適合性・低免疫原性である双性イオンポリマーナノゲルを用いた生体物質保護技術」 山下 聡氏（株式会社Gel Coat Biomaterials チーフサイエンティスト）

12:00～12:10 「酵素のDBとin silico解析～計算で酵素のどこまでがわかるのか～」
渡来 直生氏（(株)digzyme 代表取締役）

12:10～12:20 「圧縮と分類のデジタル生物学」
緒方 法親氏（大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻招へい教授、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合事業部顧問（ゲノム技術）、株式会社日本バイオデータ代表取締役）

12:20～12:30 「データ駆動開発人材、自動化人材の集め方」
松田 朋子氏（(株)日本バイオデータ Senior Principal Scientist 大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 招へい研究員 バイオエンジニアリング領域 若手ダイナモ人材小委員会 副リーダー）

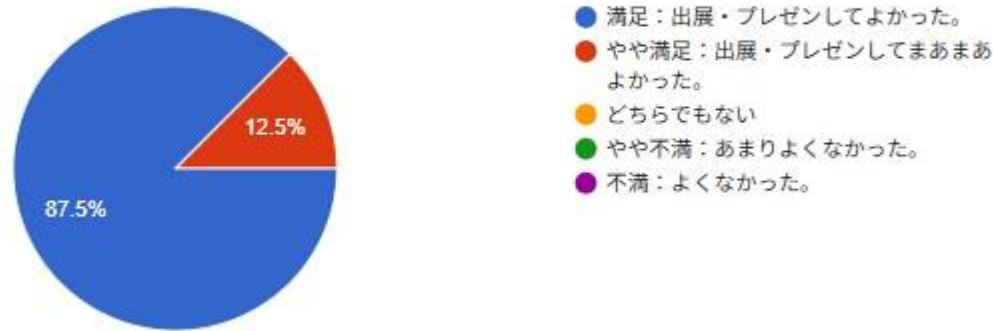


出展者・プレゼンテーション登壇者へのアンケート結果（概要・抜粋）

～JBA健康・医療系研究会共同企画～

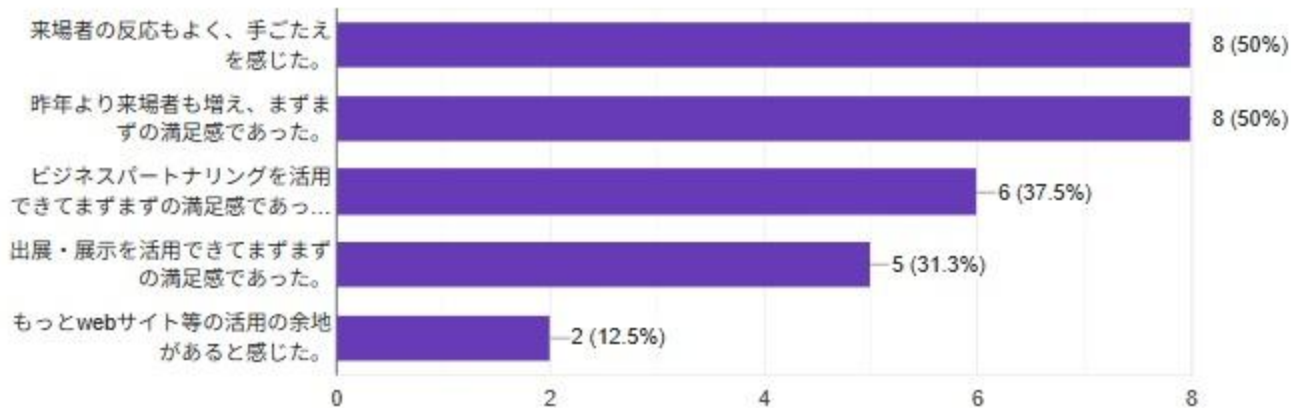
1. ご出展・プレゼンテーションの満足度をお聞かせ下さい。

16件の回答



2. ご感想に近いものをチェックしてください。

16件の回答



想像よりも多くの方に聞いていただけて嬉しかった。
反応もよく、伝えたかった情報を伝えられた。

昨年までのステージと比べても遜色なく、マイクの調子もよく、ラウンド型のよいステージだった。
もっと宣伝ができるとういと思った。

多くの聴講者を得て、立ち見客も多く、満足。これまでのステージよりお客様との距離が近く、来年も同様なステージがあるとありがたい。可能ならばプレゼンPPTをJBAに事前に送付してまとめて投影する方が、不具合の不安感もなくてよいかもしれない。ブースの壁面は昨年よりマイルドな色合いで、液晶面との色彩バランスもよく、とてもよかった。

JBAブースと未来共創ブースが去年のように近ければ、JBAブースを面談に積極的に活用できてさらによかったと思う。人出が多く、ブースの中がごったがえして狭かった（贅沢な悩みですが）。